



第43回 教育講演会

「ネット依存の現状と予防対策」

独立行政法人国立大学機構久里浜医療センター

臨床心理士 三原 聡子先生

7月11日（土）にさくやホールにおいて、富士河口湖町 PTA 連合会、南都留郡 PTA 連合会、富士河口湖町教育センター主催による教育講演会が行われました。次代を担う子ども達の育成を目指すための研修も今年で43回を数えます。当日は、町内外よりたくさんの保護者や教職員の方々の参加をいただきました。今や子ども達にとって生活の一部ともいえるインターネット。オンラインゲームやラインなど、そこに隠された恐怖は誰もが漠然と抱いているものだけに、三原先生のお話には子ども達だけでなく、自分自身と重ね合わさずにはいられないものでした。インターネット利用のメリットとデメリット、特に健康面、学業仕事、対人関係、生活環境への影響を把握した上で、家庭の中で子ども達に上手にネットを利用させていくことの大切さを改めて知ることが出来ました。また、ネットアクセスの制限については家庭のみならず、地域での取り組みの必要性も考えなければいけないことがわかりました。



ネット依存にさせないために、

- ①家庭内で成長に合わせたルールを決めること
- ②親がわからない機器を買い与えないこと
- ③ネット以外の趣味を持たせること
- ④ネットとリアル体験をバランス良く作ること



- ⑤ネットが原因と考えられる体調不良、遅刻等に早期対応をすることなど、とりわけ家庭教育は重要です。

小中学生のネット利用時間の平均が4時間というこの時代に、「世の中のたくさんのすばらしいものを見たり聞いたり感じたりしながら心豊かな人に育ててほしい」という社会の願いと、子ども達の希望をうまく絡み合わせながら、文化を、そして、時代を作っていく責任が私たちにはあると痛感しました。たくさんのご参加に心より感謝いたします。